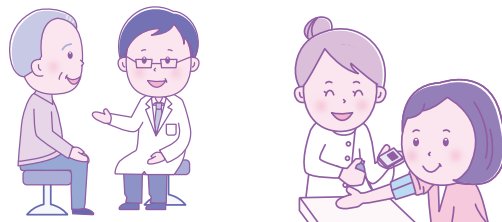




特定健診の受診率が下がると健康保険料があがる？

「インセンティブ(報奨)制度」をご存知ですか？これは、健康づくりの取り組みを健康保険料に反映させる国の制度です。健康づくりの取り組みが得点化され、もし得点が低いと、国からペナルティが課され、国保の運営費が高くなってしまいます。久米島町国保は赤字でまわしているため、加入者の保険料を上げなければいけない事態になってしまいます。主な評価の指標は以下のとおりです。

- 1. 特定健診・がん検診の受診率
- 2. 特定保健指導の受診率
- 3. 特定保健指導対象者の減少率
- 4. 受診勧奨を受けた方の医療機関受診率
- 5. ジェネリック医薬品の使用率



健診で、病気やその発症リスクに早く気づいて病院を受診し、保健指導を利用して病気を早期発見し、早期に治療を受けることで、医療費が高額になることを防げます。このことから、生活習慣病を予防するための取組が評価されていることがわかりますね。11月末現在、久米島町の国保加入者における今年度の健診受診率はまだ40.5%です。字別でみると、1位は山里の63.6%。最下位の字は31.5%と、健康意識にばらつきがあるようです。

ちなみに、沖縄県はジェネリック医薬品の使用率全国1位です。しかし、健診受診率は低く、健診を受けても生活習慣病を高める量の飲酒や、偏った食事、運動不足が原因で、内臓脂肪型肥満の割合は全国1位です。

糖尿病および糖尿病予備軍は最多！男性はお酒の飲みすぎに要注意！

12月末現在、令和元年度の健診を受けてメタボに関する項目で何らかの異常があった人は男性で98%、女性で96.5%と、ほぼ全員が赤信号でした。特に異常率が高い検査項目はHbA1c(64.5%)で、糖尿病または糖尿病予備軍が507人いるという結果でした。その次にLDLコレステロール、高血圧、肥満と続きます。また、久米島の男性の約4割に肝機能に異常があり、中性脂肪、尿酸値に異常のある人は女性の約2倍います。これは男性が女性より危険な量のお酒を飲んでいることを表しています。

あの人も高血圧、痛風だから自分もこれくらいは大丈夫と安心したいところですが、久米島ではみんなも同じだから自分も大丈夫とは限らないのですね。今年度も残すところあと2か月です。健診を受けて健康を守りましょう。

異常者率の多い項目ベスト4

	受診者数	何からの異常があった者	HbA1c	LDLコレステロール	高血圧	肥満
男	441	98%	64.6%	49.9%	58%	50.6%
女	345	96.5%	64.3%	67.2%	52.8%	43.5%
計	786	97.3%	64.5%	57.5%	55.7%	47.5%

女性と比べて男性の異常率が特に多い項目

	中性脂肪	尿酸	肝機能異常
男	40.4%	29.5%	38.8%
女	26.1%	8.7%	17.4%
計	34.1%	20.4%	29.4%